

成果指標				
成果指標	観光入りこみ客数			
指標設定の考え方	観光関係団体の事業を通して、伊予市の観光情報等を発信することにより、交流人口の増加を目指す。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目 標	1600000	1920000	2028000	0
実 績	1918694	2027577	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	本年度は、えひめいやしの南予博2016の前年のPR活動へ参加し、伊予市市のPRに努めた。広域観光関係団体等への負担金であり、連携強化を図るためにも継続していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	4	B
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	自己の課題認識のとおり活動に努めたが、これまで以上に観光客誘客の入込が増加するように、効果的な観光宣伝事業展開の検討が必要である。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題